

1. 環境チャレンジ目標2030



環境チャレンジ目標 エコチャレ2030

目標年度：2030年度 2030年に向けた環境チャレンジ目標を策定し、取り組みを推進しています。

チャレンジ1 事業活動におけるCO₂排出量を半減！

2050年度には、90%削減を目指す！

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替

チャレンジ2 事業活動における食品廃棄物を半減！

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンク等への食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上

チャレンジ3 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進
- 容器包装の削減

チャレンジ4 組合員とともにエシカル消費を拡大！

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大

2. 環境チャレンジ目標2030にもとづく2018年度計画

<チャレンジ1> CO₂排出量を半減！

- 1) 太陽光の自家発電・自家消費を、新たに2事業所で導入。
- 2) コープでんきの供給事業所の拡大(2017年度／88事業所→2018年度／約200事業所)。
- 3) 省エネチューニングの対象事業所を拡大(2017年度／18事業所→2018年度／58事業所)。

<チャレンジ2> 食品廃棄物を半減！

- 1) 事業における食品廃棄の実態把握。
- 2) 店舗で食品ロス削減を目的にした「もったいないプロジェクト」をスタート。
- 3) 神戸市と連携した取り組みを推進。店舗での廃棄ロス削減に向けて、実証実験を実施。

<チャレンジ3> 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

- 1) 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進(店舗・宅配)。
- 2) 「コープでんき」をエシカルな商品として位置づけ、電源構成や地産地消などの特長を明確にして訴求。また省エネ・節電などのエシカルな行動につながる新規サービスの開発を進める。
- 3) 職員研修を通じて、エシカルな商品や取り組みを学び、組織全体での供給促進につなげる。

<チャレンジ4> 組合員とともにエシカル消費を拡大！

- 1) 組合員自身が、エシカルな行動を楽しみながら自己診断できる取り組み「エシカルラリー」を試験的に展開。
- 2) エシカル商品としての「コープでんき」の学習と、良さを伝え合うことによる加入促進。
- 3) 家庭における食品ロス削減に向け、フードドライブ集中取り組みを全店舗に拡大。
- 4) 容器包装の削減に向けた取り組みとしてのマイバッグ運動の推進(大阪北地区は2018年度集中取り組み)。